

平成 18 年度 事業 報告 書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

事業期間

平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日

事業の成果

設立 5 年目として、ISO の普及活動、支援活動が定着してきた。事業としては、労働安全衛生に関するコンサル業務が大阪産業大学クリエイトセンターから委託があり、実施した。

ISO14001 や相談、改善指導等の支援活動を企業・法人について行った。また、自主的活動として ISO 有効活用事典等の出版の話が出版社からあり、出版プロジェクトを立ち上げて平成 19 年 8 月を出版目標に取り組みが開始された。

新たに会員 1 名、賛助会員 1 社が増加した。運営体制等は、昨年と同様 2 ヶ月毎の理事会の定例化により、運営の安定を進めている。さらに、17 年度にも参加した大阪市の支援で実施された大阪城公園での大阪フェスタに参加して PR・宣伝の活動を展開した。なお、内部監査代行事業は今年度実施できていない。

事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業

滋賀県立大で開催予定を検討していたが、実施できなかった。

(2) コンサル事業

・無料相談

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】アイ・エス・オー有効活用センター事務局

個人、法人よりメール、電話問合せがあり、電話による対応を行った。

・企業支援

【内 容】構築・運用コンサル

【実施場所】労働安全衛生のシステム構築のコンサル業務を受託し実施

(大阪産業大学クリエイトセンターから委託：委託費 52.5 万円)

ISO9001 構築の支援を岩本建設に実施(謝金：1 万円)

(3) ISO 監査事業

1) 【内 容】第三者による内部監査 (ISO14001)

【実施場所】相談、問い合わせはあったが、実施には結びつかなかった。

2) 【内 容】自己宣言型 ISO の認定

【実施場所】ISO9001 の自己宣言型認定希望の建設会社の第 1 回内部監査を実施後の 2 回目内部監査は実施せず、運用を開始している。今後の認定内部監査は未定である。

社員総会の開催状況

平成 18 年度総会は、平成 18 年 5 月 20 日(土)に長岡京市バンビオ 1 番館会議室で開催、12 名が参加し、平成 17 年度事業報告書、収支報告書の承認事項を承認した。また、18 年度の事業計画書、予算案について議論し、承認をした。さらに役員改選の年度であり、役員改選を行い、前年度の役員が全員再任された。

理事会その他の役員会の開催状況

理事会は、2ヶ月に1度の開催となり概ね偶数月の第一月曜日と定めたが、ISO事典の出版の取り組み、打ち合わせを兼ねて、以下の日程で実施した。

平成18年度	第1回	2006.04.3(月)	18:30~20:30	ISO有効活用センター事務局
"	第2回	2006.06.5(月)	18:30~19:30	ISO有効活用センター事務局
"	第3回	2006.08.7(月)	18:30~20:00	長岡京市バンビオ1番館
"	第4回	2006.10.2(月)	18:30~20:30	ISO有効活用センター事務局
"	第5回	2006.12.4(月)	19:00~20:30	ISO有効活用センター事務局
"	第6回	2007.02.10(月)	13:00~17:00	長岡京市バンビオ1番館

平成 19 年度 事業 計 画 書

特定非営利活動法人 アイ・エス・オー有効活用センター

事業の実施方針

- ・平成 19 年度は、広報活動をいっそう展開しつつ、事業化の進展と会員拡大を目指す。
- ・ 事業活動としては、昨年度実施した労働安全衛生のコンサル対応が継続するように努力し、内部監査の代行を中心とした有効活用の支援を重点に、既存 ISO 認証取得済企業を対象に多様な展開をする。
- ・ 特に ISO の認証済企業で効果の十分でない中小企業を対象に ISO のスリム化、見直し、「見える化」、電力コスト削減、IT 化促進の改善を呼びかける。
- ・ また、大学との連携セミナーの確実な実施の定着を図り、正しい ISO の理解が定着する努力をする。そうした普及の一環として ISO 有効活用事典（仮称）の出版を実現し、企業社会での認知と有効活用の普及を図る。

事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に係る事業

(1) セミナー事業（出版企画事業を含む）

【内 容】大学連携セミナー

【実施場所】滋賀県立大学、大阪産業大学等

【実施日時】年間 1 回開催

【事業の対象者】学生、企業の ISO 推進者、ISO に興味のある方

【収 入】10 万円

【支 出】3 万円（講師料 2 万円 × 1 回、資料費用 1 万円）

【内 容】ISO 有効活用事典企画、執筆（セミナーテキストの作成）

【収 入】0 円

【支 出】3 万円（会議費、室料、資料費用等）

(2) コンサル事業

・無料相談

【内 容】構築・運用の無料相談

【実施場所】事務局（エス・ティー・アート内）、企業先訪問

【実施日時】適時開催

【事業の対象者、方法】要構築希望個人又は団体：電話、メール相談

【収 入】0 円

【支 出】0 円

・企業支援

【内 容】運用支援等コンサル（スリム化、見直し、システム化）

【実施場所】大阪産業大学、要支援希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】ネットによる要請を受けた希望団体

【収 入】7 万円 × 2 社 = 14 万円

【支 出】講師料 1 社 5 万円 × 2 社 = 10 万円 + 成約謝金 2 万円
+ 会議費 + 交通費等

【内 容】省エネ、IT化支援

【実施場所】要支援希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】ネットによる要請を受けた希望団体

【収 入】7万円×2社 = 14万円

【支 出】講師料1社5万円×4社 = 10万円 + 成約謝金2万円
+ 会議費 + 交通費等

(3) ISO 監査事業

【内 容】第三者による内部監査及び自己宣言型認定の内部監査

【実施場所】要構築希望団体

【実施日時】適時

【事業の対象者】要内部監査希望団体

【収 入】10万円(1回)×2社 = 20万円

【支 出】講師料1社5万円×2社 = 10万円 + 成約謝金4万円
+ 会議費 + 交通費等

(4) 情報発信・広報、出版

【内 容】HPを更新し、情報発信に努める。メールによる内部監査代行を宣伝する。

【内 容】市民フェスタ等への参加

【内 容】ISO 有効活用事典(仮称)の執筆、宣伝、販売

【支 出】予備費を活用する(5万円程度)